

平成31年2月 市長記者会見発言録

日 時：平成31年2月22日（金）13：00～13：40

場 所：二本松市役所 庁議室

出席者：市長、副市長、教育長、総務部長、教育部長

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社、時事通信社、福島建設工業新聞社
福島建設新聞社、ぐるっと福島

会 見：別紙資料により市長から説明。

資料1 市議会3月定例会の提出事件について

資料2 SNSを活用した情報発信事業について

資料3 新五星山展の開催について

《質疑応答》-----

「市議会3月定例会の提出事件」関連

記者：温泉地観光施設整備事業は、岳温泉のホテル跡地を活用したものか？

市長：そのとおり。

記者：その施設は、いつごろ着工・完成予定か。

総務部長：31年度に実施設計、32年度内に着工・完成を目指す。

記者：具体的にどのような施設なのか。

総務部長：イベント広場やトイレ、授乳施設等を予定しているが、詳細については今後実施設計の中で検討していく。

記者：インバウンド誘客促進事業のキャッシュレス決済実証事業とはどのようなものか。

総務部長：エビスサーキットには多くの外国人観光客が来ており、それらの方をターゲットとして、岳温泉のお土産店等でキャッシュレス決済の実証事業を行うもの。

観光課長：キャッシュレス決済の対象は、QRコードを使ったものを考えている。国の交付金の対象事業で、店側の負担はない。

記者：現在、キャッシュレス決済の導入状況はどの程度となっているのか。

観光課長：詳しくは把握していないが、旅館以外のお店ではほとんど導入していないと思われる。

記者：エクストリームスポーツ福島創造事業において、広域連携とはどのように連携させていくものなのか。

総務部長：岳温泉・スカイピアにあるアクティブパークと、猪苗代湖でのジェットスキー、相馬地方での海水浴やサーフィンなどを組み合わせ、広域的な連携を図って滞在型の商品を売り出すものである。

記者：油井小学校の校舎増築とあるが、児童が増えているということか。

教育部長：油井小学校では児童が増えており空きがないため、今後の増加も見込んで増築するもの。平成33年度から使えるようにしたい。

記者：高齢者公共交通運賃無料化事業については、75歳以上の方の運賃がすべて無料になるということか。また、免許証の返納を促す意味もあるのか。

総務部長：そのとおり

「SNSを活用した情報発信事業」関連

記者：ツイッターやフェイスブックはすでに多くの自治体で行っていると思うが、今回始めることとした理由は。

市長：早く、正確に、分かりやすく、市内の様々な活動や魅力を、タイムリーに発信してまいりたい。

(以上)